

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 大

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 将一
 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年3月21日～平成24年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,877	1.0	626	64.3	605	74.9	467	43.9
24年3月期第2四半期	8,786	14.6	381	—	346	—	324	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 459百万円 (59.1%) 24年3月期第2四半期 288百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	32.23	—
24年3月期第2四半期	22.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	20,961	7,610	36.3	524.76
24年3月期	20,217	7,223	35.7	498.07

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,610百万円 24年3月期 7,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年3月21日～平成25年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	3.6	800	3.5	730	5.7	600	8.3	41.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	15,595,050 株	24年3月期	15,595,050 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,093,042 株	24年3月期	1,093,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	14,502,008 株	24年3月期2Q	14,502,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要など内需が牽引し緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務問題による世界経済の減速や新興国の経済成長の鈍化、円高の長期化等が国内経済に影響を落とし、更には隣国との外交問題が緊迫化するなど、依然として先行きが懸念される状況で推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、設備投資に改善傾向が見られるなど、一部明るい兆しはあるものの、競合他社との価格競争が続いており、引き続き厳しい事業環境にあります。

こうした状況の中、当社グループにおきましては、提案型営業を推進し新規顧客の開拓や既存取引先の深耕など積極的な営業展開を図るとともに、生産合理化や海外部材調達等の推進等、更なる原価低減及び経費削減に努めてまいりました。一方、商品開発部門におきましては、市場環境や顧客ニーズの変化に迅速に適応し、環境問題に配慮した高付加価値商品の開発に一段と努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、88億7千7百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は6億2千6百万円（前年同期比64.3%増）、経常利益は6億5百万円（前年同期比74.9%増）、四半期純利益は4億6千7百万円（前年同期比43.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、主力取引先であるSS業界やカーディーラー及び整備工場におきまして、昨年度に引き続き買い替え需要が好調を維持し、販売が堅調に推移いたしました。オイル関連製品におきましては昨年度好調であったエアコンプレッシャーの落ち込みはありましたが、タンクローリーの増販でカバーし、また積極的な提案型営業により新規顧客開拓に注力いたしました結果、売上高は前年同期比2.0%増の52億5百万円となりました。

(情報機器事業)

原発事故に伴う節電の影響で落ち込んでおりましたアミューズメント業界におきましては、更新需要に回復の兆しが見えました。また、SSの価格表示看板にまとまった受注があったほか、官需分野では前期末の受注残が今期の売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比6.1%増の13億4千2百万円となりました。

(生活機器事業)

個人消費低迷が長引く中、消費者の節約志向・低価格志向と相俟って、当生活関連分野におきましては厳しい状況が続いております。保冷米びつは堅調に推移しましたが、パン焼き機などの調理家電におきましては海外商品との価格競争、農産物低温貯蔵庫は競合他社との価格競争により苦戦を強いられました。また、昨年度は東北地方を中心に需要が大きかった台所収納庫関連も需要が一段落し売上を落としたことから、売上高は前年同期比10.9%減の18億5百万円となりました。

(住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・施工が主な事業であります。主要取引先である建設業界は依然として厳しい状態が続いており、当社への影響も例外ではなく厳しい状況にありますが、昨年度後半からの受注が比較的好調に推移し、今期上期の売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比43.6%増の4億4千7百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、業界全体の競争激化に加え、長引く経済不況の影響を受けて厳しい経営環境が続いておきまして、売上高は前年同期比2.3%減の7千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億4千3百万円増加し209億6千1百万円となりました。流動資産は9億1千9百万円増の115億7千6百万円、固定資産は1億7千4百万円減の93億8千3百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、たな卸資産が10億2千9百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ3億5千6百万円増加し133億5千1百万円となりました。流動負債は8千8百万円減の95億1千9百万円、固定負債は4億4千5百万円増の38億3千1百万円となりました。これは主に短期借入金4億4千3百万円減少したことと未払金が2億3千8百万円増加したこと、長期借入金4億3千4百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ3億8千6百万円増加し、76億1千万円となりました。これは主に四半期純利益4億6千7百万円及び剰余金の配当7千2百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2千万円減少し、3億5千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億5百万円（前年同期は1億7千1百万円の使用）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益5億6千1百万円を計上したことやその他負債の増加額3億4千2百万円により資金が増加した一方、たな卸資産の増加額10億2千1百万円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億2千7百万円（前年同期は6千6百万円の増加）となりました。主な要因は、その他投資活動による収入1千2百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出1億2千7百万円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1億円（前年同期は1億6千2百万円の増加）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入10億円により資金が増加した一方、短期借入金の純減額4億2百万円と長期借入金の返済による支出6億6百万円により資金が減少したことによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、平成24年5月2日付「平成24年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,431,977	1,411,069
受取手形及び売掛金	4,462,698	4,431,334
商品及び製品	1,343,222	1,813,786
仕掛品	1,195,648	1,418,053
原材料及び貯蔵品	1,941,668	2,278,626
その他	305,548	246,615
貸倒引当金	△23,208	△22,815
流動資産合計	10,657,555	11,576,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,917,785	2,836,347
機械装置及び運搬具(純額)	317,898	277,901
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	158,977	235,809
有形固定資産合計	6,375,824	6,331,222
無形固定資産		
のれん	1,165,907	1,111,475
その他	519,076	514,102
無形固定資産合計	1,684,984	1,625,577
投資その他の資産	1,496,917	1,426,261
固定資産合計	9,557,726	9,383,061
繰延資産	1,937	1,451
資産合計	20,217,219	20,961,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,633	1,236,626
短期借入金	5,569,810	5,126,780
未払金	2,388,728	2,627,330
未払法人税等	80,558	74,766
引当金	276,400	237,300
その他	100,763	216,640
流動負債合計	9,607,894	9,519,444
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	2,833,384	3,268,005
退職給付引当金	230,427	240,030
その他	222,491	223,691
固定負債合計	3,386,303	3,831,727
負債合計	12,994,198	13,351,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	1,893,892	2,288,854
自己株式	△510,121	△510,121
株主資本合計	7,708,466	8,103,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△96,533	△117,539
繰延ヘッジ損益	8,788	△3,288
為替換算調整勘定	△397,699	△372,587
その他の包括利益累計額合計	△485,444	△493,415
純資産合計	7,223,021	7,610,012
負債純資産合計	20,217,219	20,961,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
売上高	8,786,362	8,877,439
売上原価	6,120,520	5,871,875
売上総利益	2,665,841	3,005,563
販売費及び一般管理費	2,284,583	2,379,072
営業利益	381,258	626,490
営業外収益		
受取配当金	11,289	11,169
その他	55,764	35,227
営業外収益合計	67,053	46,397
営業外費用		
支払利息	74,590	58,372
その他	27,518	9,179
営業外費用合計	102,109	67,552
経常利益	346,202	605,335
特別利益		
固定資産売却益	378	30
貸倒引当金戻入額	12,746	—
特別利益合計	13,124	30
特別損失		
固定資産除却損	117	1,753
投資有価証券評価損	61	42,132
貸倒損失	945	—
貸倒引当金繰入額	360	—
特別損失合計	1,483	43,886
税金等調整前四半期純利益	357,844	561,479
法人税、住民税及び事業税	35,151	50,146
法人税等調整額	△2,089	43,861
法人税等合計	33,061	94,007
少数株主損益調整前四半期純利益	324,782	467,472
四半期純利益	324,782	467,472

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324,782	467,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,495	△21,006
繰延ヘッジ損益	△7,124	△12,076
為替換算調整勘定	△12,353	25,112
その他の包括利益合計	△35,972	△7,970
四半期包括利益	288,809	459,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288,809	459,501

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	357,844	561,479
減価償却費	235,314	210,510
のれん償却額	54,432	54,432
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,062	6,282
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,920	△33,920
退職給付引当金の増減額(△は減少)	35,379	9,602
受取利息及び受取配当金	△13,426	△11,791
支払利息	74,590	58,372
有形固定資産売却損益(△は益)	△378	△30
有形固定資産除却損	117	1,753
投資有価証券評価損益(△は益)	61	42,132
売上債権の増減額(△は増加)	△489,860	32,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	△584,688	△1,021,770
その他の資産の増減額(△は増加)	△10,599	3,536
仕入債務の増減額(△は減少)	21,785	42,881
その他の負債の増減額(△は減少)	262,477	342,826
小計	△71,934	299,222
利息及び配当金の受取額	13,731	11,755
利息の支払額	△76,099	△51,774
法人税等の支払額	△36,744	△53,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	△171,047	205,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△787,500	△787,500
定期預金の払戻による収入	787,500	787,500
有形固定資産の取得による支出	△27,028	△127,147
有形固定資産の売却による収入	892	38
無形固定資産の取得による支出	△2,539	△10,375
投資有価証券の取得による支出	△4,201	△3,358
投資有価証券の売却による収入	100,000	—
貸付けによる支出	△3,300	—
貸付金の回収による収入	2,635	2,504
その他の収入	6,926	12,524
その他の支出	△6,516	△1,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	66,868	△127,443

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,060,000	△402,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△29,409	△19,690
長期借入れによる収入	780,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,647,931	△606,409
社債の発行による収入	100,000	—
社債の償還による支出	△100,000	—
配当金の支払額	—	△72,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,659	△100,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△414	1,811
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	58,066	△20,907
現金及び現金同等物の期首残高	286,483	373,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	344,549	352,771

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,105,640	1,265,316	2,026,059	312,001	77,344	8,786,362	—	8,786,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,941	10,345	142,316	31,123	74,709	267,436	△267,436	—
計	5,114,581	1,275,661	2,168,376	343,124	152,053	9,053,798	△267,436	8,786,362
セグメント利益又は 損失(△)	751,877	△116,651	234,419	△158,060	26,443	738,029	△356,771	381,258

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△356,771千円には、セグメント間取引消去17,168千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△373,939千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,205,774	1,342,574	1,805,526	447,974	75,589	8,877,439	—	8,877,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,895	17,203	174,649	4,745	74,244	276,738	△276,738	—
計	5,211,669	1,359,777	1,980,176	452,719	149,834	9,154,177	△276,738	8,877,439
セグメント利益又は 損失(△)	841,416	7,142	243,752	△118,647	22,993	996,656	△370,166	626,490

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△370,166千円には、セグメント間取引消去13,039千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△383,205千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。